

やっほー

やまびこネットワーク情報誌 VOL. 5 4

発行日 平成20年12月19日
編集 地域づくりネットワーク長野県協議会
事務局(長野県総務部市町村課地域振興係内)
電話 026-232-0111(内線 2127)
FAX 026-232-2557
E-Mail s-shinko@pref.nagano.jp
URL <http://zuku.umic.hp/yonet/>

上伊那支部のページ

地域づくりフォーラムを開催しました

平成20年10月4日(土)、南箕輪村民センターにおいて「地域づくりフォーラム」を開催しました。

このフォーラムは、当支部と上伊那地方事務所との共催事業で、支部会員だけでなく、各地域で活動されている「地域づくり団体」の方々など約70名が参加され、以下の内容を実施しました。

1. 当支部会員による活動内容の発表

「さわそこ里山資源を活用する会」の事務局長有賀茂人さんが活動内容を発表しました。

- ・ 過疎化が進む地域でなんとか元気を出して活性化していこうと、県の支援金などを活用し事業を展開してきました。人や資金が限られる中で、地域の人たちが気軽に寄り合い、話ができる場を創り出すことはできたと思っています。
- ・ 今までに、道祖神 500 年祭、福寿草まつり、ひまわり畑で油を搾ろう！プロジェクト、シカ肉を使ったコロッケ作り講座などの取り組みを行ってきました。最近では、里山整備への取り組みや教育ファーム推進事業を活用し、小学校へ米を届けたり、児童とみそ玉づくりを行い、子どもたちに農業や里山について関心を持ってもらう取り組みを始めました。
- ・ 地域づくりに関心を持ってもらえるように、地域全体の温かな雰囲気(無関心ではなく、「あいつら何かやっているようだが、自分も何か手伝ってみるか」というような空気)づくりが大切だと感じています。

2. 平成19年度「地域発 元気づくり支援金」事業の優良事例表彰とその事例発表

優良事例に選定された事業の中から、県知事表彰を受賞された「雑穀アマランサスによる地域活性化推進事業」のほか、上伊那地方事務所長表彰4事業の表彰式を行い、各表彰団体からは、それぞれの取組について苦労話などを交え、熱い思いのこもった発表をしていただきました。

3. 地域再生診療所長 井上弘司 氏による基調講演

「人財力＝地域の持続力」と題して、全国各地の地域づくりの事例紹介を交えながら講演をしていただきました。

【マネのできる地域活性化はない】

それぞれの地域には文化、事情、環境など特有のものがあります。

【目指す地域の姿を共有する】

まずは、地域の特性を知り、地域をどうしていくのかという

「地域ビジョン」を描くことが大切です。 "適地適作"で地域特有の資源(自然、文化、景観、農業等)を活かし、次世代に受け継いでいかねばなりません。

【地域づくりは人づくりに尽きる】

地域ビジョンを描けるリーダーの存在、資質が鍵になります。人財という鉱脈を掘り当てて、地域の活性化という元気を生産していくことが重要です。この「地域づくりフォーラム」に支部会員以外にも多くの地域づくり団体などの参加をいただき、上伊那地域の地域づくりに対する意識をより高めることができました。



上伊那支部では、現在12団体が加入しております。今後も会員相互はもとより、上伊那地域の地域づくり活動がより元気になるよう、取り組んでいきたいと考えています。

木曽支部のページ

～ 木曽支部の団体を紹介します ～

がったぼ会(森のクラブ)の活動について

木曽御嶽山のふもとの木曽町開田高原のがったぼ会は、人が好き、酒が好き、ふるさとが好き、をモットーに地域おこしの活動をしています。

「がったぼ」とは、開田弁でやんちゃ坊主の意味です。もともとは村の森林組合の後継者部会として発足しました。

現在20数名の会員で、そのなかには地元開田高原で育った人や、Uターン、Iターンで開田高原に来た人など、仕事も年齢も様々な人達がいいます。

みんな開田高原が好きで、開田高原の豊かな自然、美しい景観、暖かい人々の交流に魅力を感じ、楽しく集い、活動しています。

日ごろ活動している事業としては、以下のようなものがあります。

- ・御嶽山登山道整備 毎年シーズン前に遭難対策協議会と一緒に開田口登山道を整備します。
- ・ナナカマド整備 以前植栽した361号線沿いのナナカマド周辺の整備を行います。
- ・木曽馬結婚式 交流会で知り合ったメンバーの結婚式が行われました。白無垢の花嫁は、仲人の民謡に先導され木曽馬にゆられ式場へ向かいました。
- ・がったぼ塾 会のメンバーが講師になったり、外部から専門家を招いて、地域づくりや町おこしの話を聞きます。
- ・ワインを飲む会、日本酒をたしなむ会、フイリン料理を食べる会 ただの飲み会ではなくワイン、お酒や料理に関する話題を織り交ぜながらの楽しいひと時を過ごします。
- ・馬頭琴コンサート 県宝山下家で馬頭琴コンサートを行いました。満員の会場は、風の音に似た優しい調べに包まれました。
- ・ふるさと交流会 東京で開田高原を紹介する交流会を行い、その場でそばを打ち、開田高原のおいしさを満喫していただきました。



他にも、そば祭りにおける出店、開田高原文化祭で餅つきの協力、保育園園児とともに日ごろ手入れをしている山で遊ぶ等の活動を行っています。

“人が輝けば、地域が輝く”を信条に開田高原内外から集まる多彩な顔ぶれのがったぼ会をこれからもよろしく願います。

がったぼ会 問い合わせ先 0264-42-3631 代表者 稲垣 康

地域づくりネットワーク長野県協議会（やまびこネットワーク）に新しい仲間が加わりました。

サロン「しもすわ」(諏訪支部) 設立 H20年4月 会員数 35人

【主な活動内容】 地産地消の定食を提供(月～金)、「あの人の話を聞く」(土) 等

大地の会(諏訪支部) 設立 H18年6月 会員数 31人

【主な活動内容】 遊休農地の有効活用、農業体験を通じた子供たちとのふれあい 等

カラマツストープ普及有限責任事業組合(諏訪支部) 設立 H18年10月 会員数 8人

【主な活動内容】 ストープの普及、里山の再生

梅が里ギャラリー 手づくり屋(上伊那支部) 設立 H20年4月 会員数 20人

【主な活動内容】 もの作りに取り組む人を応援、地域にものづくりを伝えていく 等

味ロジックわくわくさかき(長野支部) 設立 H16年4月 会員数 23人

【主な活動内容】 農産物の加工・販売、食文化の伝承

佐久子どもサポートセンター(佐久支部) 設立 H15年9月 会員数 35人

【主な活動内容】 相談活動、広報紙発行、居場所づくり等

「自分たちのため」「地域のため」やまびこネットワークへの加入を呼びかけ、仲間の輪を広げよう!

自主的・主体的な地域づくり活動の気運高まる

平成20年10月17日(金)に当支部と佐久地方事務所の共催による地域づくり活動の事業成果発表会を開催しました。当日は、当支部の会員を始め、佐久地域において活躍している32に及ぶ団体の皆さん約90名が一同に会し、各団体による個別の説明や展示などにより、活動事例や成果の発表が行われました。

1. 当支部会員による活動内容の発表

当支部から、次の7団体が参加し、展示を主体に活動の発表を行いました。取り組み内容にたくさんのご質問をいただくとともに、活発な意見交換が行われ、活動の励みになりました。()

・NPO法人 郷土史研究と青少年健全育成会

郷土の歴史を研究し、それを地域の青少年健全育成につなげるために活動しています。チラシを配布しながら、活動内容の説明をしました。

・こまがた直売所

都市と農村の交流、そして女性や高齢者など地域住民のふれあいや生き甲斐づくりの場としてスタートしました。チラシを配布しながら、活動内容の説明をしました。

・里山を守る春日すみ焼の会

荒廃の進む里山を手入れし、その木材を活用し付加価値の高いすみ焼を実施しています。活動の成果である「白炭」を展示し、その性質などを説明しました。

・NPO法人 信州ふるさとづくり応援団東信支部

地域住民と都市からの移住者のふるさとづくりに関わるコーディネイトや農林畜産業及び地域文化などの支援活動をしています。写真パネルで、日頃の活動内容の紹介をしました。

・NPO法人 望月まちづくり研究会

まちづくり全般に資する事業を行い、地域社会の意識高揚や地域活性化などを目的に活動しています。望月城跡の整備・保存活動に取り組んでおり、その魅力を伝えるジオラマを作製し展示しました。()

・望月教育プラットホーム

「地域づくりは人づくり」の理念のもと、望月地域全体の教育力を高め、地域をあげて次代を担う子供たちを育成するため、子育て支援などの活動を行っています。

・万年青年団グリーンウェイブ

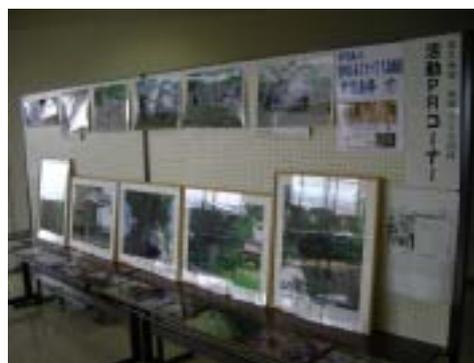
浅科地域の住民が主体となり、地域資源再発見にかかわる活動等を行っています。

2. 平成19年度「地域発 元気づくり支援金」事業の事例発表

「地域発 元気づくり支援金」の取り組み事例のうち、3つの事業の発表が行われました。()

そのうち、県知事賞に選ばれた岩村田連合商店会(佐久市)の「子育て村事業」は、子育て中の保護者から、地域とのコミュニケーションを望む声があり、地域密着事業の一環として、人が集まる商店街を様々な人達の交流の接点としながら、子育てに役立つサービスや環境を提供することにより「安心して子育てができる街」を目指した「子育て村」を開村。商店街と子育て世代とのコミュニケーションの機会が増加し、商店の活性化が図られたことが評価されました。

各事業の発表内容は、当支部会員にとって、地域づくりに取り組むための貴重なヒントになるとともに、よい刺激になりました。



NPO法人 飯綱高原よっころしよ(長野支部)

「どうにかみんなのやりたいことを叶えたい」との思いの有志が集まり、自治組織や事業者との協働のもと、機動的かつ継続的に「公益」につながる活動を始動させることとなったのがNPO法人飯綱高原よっころしよ設立のきっかけでした。当NPO法人では、イヤー事業の一環として、「地域づくり団体等活動支援事業」の助成を受けて、5月17日に「飯綱高原地域づくりフォーラム」を開催。NPO法人全国元気まちづくり機構理事長である野尻博さんのご講演をいただきました。「観光事業者と住民が一体となった観光まちづくりと地域活性化」が今回のテーマでしたが、野尻さんからは、多くのご示唆をいただきました。

1. もの・ことのみをつくるのではなく、“心”を大切にすること。
2. まちづくり、特にお客様に喜んでもらうには「ウェルカム」「核」「フィナーレ」の構成の全てが整っていないとダメ。「核」となるイベント内容だけに注力していると、お客様のニーズの汲み取りや心のこもったおもてなしがおろそかになり自己満足で終わってしまう。
3. まちづくりの目標となる“夢”をみんなで導き出し、それに向かって個人個人が、団体それぞれが実践していくことが大事。そのとき、「ナンバーワン」をめざすのではなく、「飯綱高原は だ」といった「オンリーワン」を目指すことが必要だ。

参加した地元スタッフで課題の共有・確認ができ、また、講師の個性的な語りかけによって、今後の地域づくりに対する大きなやる気・元気をもらいました。

今後、まちづくりを進めて行くうえで、スタッフとしての人材確保が必要です。自分たちも楽しみながら、お客様の喜ぶ姿を糧に、多額でなくてもいいから、キックバックがあるような活動(収益事業)に成長していけるよう、知恵を絞り実績を積んでいきたいと考えています。そして、このことは各地で地域づくりに熱心に取り組む団体に共通して言える課題ではないでしょうか。

これからも団体間のネットワークをしっかりと結び、お互いに前進していけるよう頑張っていきたいと思います。



NPO法人 飯綱高原よっころしよ 問い合わせ先 026-239-0102 代表者 林部 陟

やまびこフォーラム2008の開催について

県内で活動する地域づくり団体が各ブロック事業の成果を持ち寄りながら一同に集い、会員相互の交流を深めながら、今後の地域づくりがどうあるべきかを考え、新たな活動へのきっかけを掴む場として、「やまびこフォーラム2008」を下記のとおり開催いたします。

ネットワーク会員の皆さんはもちろん、お知り合いなどにお声をかけていただき、大勢の皆様のご参加をお願いいたします。

開催日 平成21年1月31日(土)

会場 上田市 丸子公民館

内容 各ブロック代表による活動報告・地域づくりの「今・未来」を語る交流 など

参加申込みの方法は、後日ご案内いたします。

事務局からのお願い

【年会費の納入について】

年会費(2,000円)の納入がお済みでない会員の皆様、お忙しいところ大変恐縮ですが郵便振込にて会費の納入をお願いします。

納入の際にご利用いただく「払込取扱票」は県事務局に予備がありますので、必要な方はご連絡ください。